


# CASBEE<sup>®</sup>-戸建(新築)

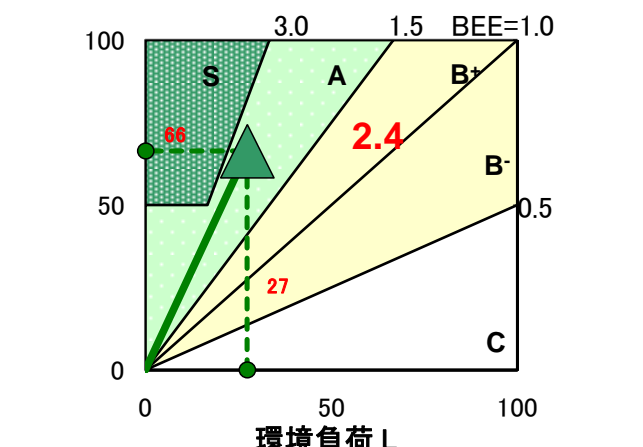
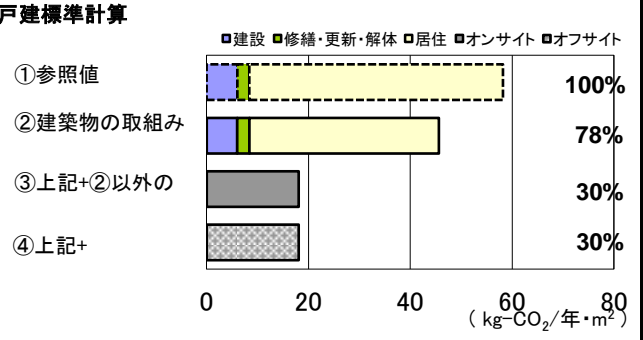
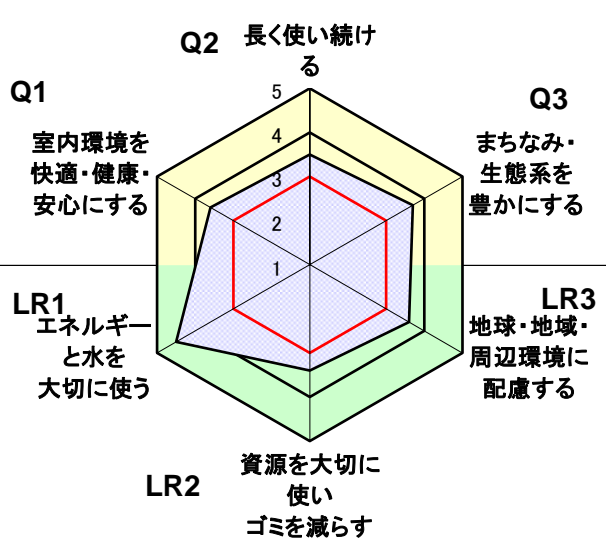
# 評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2014年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH\_NC\_2014v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	TM		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 確定
竣工年月	2015年3月	竣工			
建設地	茨城県つくば市				
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定			
省エネルギー地域区分	5 地域				
構造・構法	木造在来工法	確定			
階数	2		評価の実施日	2015年6月15日	
敷地面積	228 m <sup>2</sup>	確定	作成者	矢野浩司	
建築面積	72 m <sup>2</sup>	確定	確認日	2015年6月20日	
延床面積	115 m <sup>2</sup>		確認者	岡田八十彦	
世帯人数	4	仮			

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE ≥2.4</b> ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>  <p>環境負荷 L</p>	<p>☆☆☆☆☆ ~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆☆☆ ~100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>戸建標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> 

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p><b>Q のスコア = 3.6</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>Q1のスコア= 3.6</p>  <p>暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>Q2のスコア= 3.5</p>  <p>長寿命に対する 維持管理 機能性</p>	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>Q3のスコア= 3.7</p>  <p>まちなみ・景観 生物環境の 地域の 地域の資源の活用</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p><b>LR のスコア = 3.9</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>LR1のスコア= 4.5</p>  <p>総合的な省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>LR2のスコア= 3.4</p>  <p>省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用 生産・施工段階における廃棄物削減 リサイクルの促進</p>	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>LR3のスコア= 3.6</p>  <p>地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>建物の断熱性、設備面において省エネルギー性が高く、環境への負荷が小さくなるよう配慮されている。住まい手が長期間にわたって快適、安心して生活できるよう劣化対策が採られており、住宅の更新という点でも環境に与える負荷が小さい。建物外についても、敷地内は緑化される等、生態系の保護にも寄与する。</p>		<p><b>その他</b></p>
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>低炭素住宅基準を満たす性能を持たせており、省エネルギー性が高い。LDKでの通気性を確保し、適切な冷暖房設備を設置し、快適性が確保されている。汚染物質の発生防止、適切処理されている。防犯性、災害時の危険回避が考慮され、生活者が安心して生活できるよう配慮がみられる。自然光を有効利用する開口部を確保するとともに、防音面でも配慮されている。</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>耐久性、耐用性が長期間期待される外装材であり、耐火性・防火性も備えている。維持管理対策等級3として、設備配管等のメンテナンスの容易さにも配慮されている。維持管理が適正に行われるよう情報提供、仕組みが用意されている。</p>	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>モトーン調の落ち着いた色調があり、シンプルな形状の中に特徴的な要素を取り入れている。境界塀は設けず、道路に面して開放的であり、外構の多くを緑地としている。開口部に面してウッドデッキが配置され、木のぬくもりが演出されている。舗装面は少なく、生態系・環境にも配慮されている。</p>
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>住宅内の水栓は節水タイプが設置されている。太陽光発電設備が設置され、創エネルギーであるとともに、エネルギー消費の「見える化」が図られ、エネルギーを大切に使うよう配慮されている。</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>合法木材の使用、構造体のプレカット、再生骨材の使用、リサイクル材の使用がなされ、資源を大切に使いゴミを減らす配慮が見られる。</p>	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>敷地内で雨水浸透する配慮があり、雨水排水負荷軽減につながっている。緑化もなされ、敷地全体では風通しも良く、温熱環境についても配慮されている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (環境品質)、L: Load (環境負荷)、LR: Load Reduction (環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)  
 ■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE<sub>H</sub>、Q<sub>H</sub>、LR<sub>H</sub>などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q<sub>H2</sub>、LR<sub>H1</sub>中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)  
 ■ライフサイクルCO<sub>2</sub>の算定条件等については、マニュアルおよび「CO<sub>2</sub>計算」シートを参照されたい